

Here We Go!

ENGLISH COURSE

英語教育は

こう変わる！



中学校英語

理想の授業 CHECKLIST

2021年、
先生方は
どんな授業が
したいですか？

- 生徒が積極的に英語で話したくなる授業がしたい。
- 生徒の自由な発想を高めるような授業がしたい。
- 生徒の気づきを促すような授業がしたい。
- 生徒が英語で「できる」ことが増える授業がしたい。
- 英語が好きな生徒を増やす授業がしたい。
- 生徒の英語力の成長を実感できるような授業がしたい。

ひとつでも当てはまったら…

Here We Go!と一緒に、
新しい一歩を踏み出しませんか。



光村図書

内容解説資料

発行者：小泉 茂 発行所：光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9 電話 03-3493-2111(代表)
光村図書ウェブサイト www.mitsumura-tosho.co.jp
印刷：株式会社加藤文明社
デザイン：氏デザイン イラスト：アボット奥谷



子どもたちの未来のために、光村図書は、教科書の作成にあたって、「環境」「健康」「子どもの特性」に配慮しています。

- ・原料や製法など、環境に配慮した紙を使用しました。
- ・環境と健康にやさしい、エコマーク認定の植物油インキで印刷しました。
- ・カラーユニバーサルデザインに関して、細心の注意を払いました。
- ・生徒の学習負担を軽減するように配慮された書体を使用しました。
- ・特別支援教育の視点から、専門家の入念な校閲を受けました。



光村図書

内容解説資料

この資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って作成したものです。

英語教育が変わります!

英語教育は今、大きな変革期を迎えています。

実際のコミュニケーションで活用できる英語の力を身につけるために、

中学校英語教育の現場はどう変わっていくのでしょうか。

まずは2021(令和3)年度から全面実施される、中学校の新学習指導要領のポイントを確認しましょう。

小学校外国語の教科化

2020年度から、小学5・6年生は教科としての外国語を学びます。また、3・4年生は週に1時間の外国語活動の授業を受けます。小・中・高の連携がこれまで以上に求められます。

思考力・判断力・表現力の育成

新学習指導要領のポイントの1つは、「思考力・判断力・表現力」の育成です。外国語科においては、互いの考えや気持ちを伝えるなどの言語活動を通して、生徒が主体的に考え、仲間と対話をしながら、考えを深められる授業を行うことが求められます。

「即興力」の育成

新学習指導要領では、「話すこと」の目標の中に「即興」という言葉が使われています。「話すこと」が「やり取り」と「発表」に分けられ、今までの「自分の考えを伝える力」に加え、「即興でやり取りする力」や「即興で発表する力」を生徒に身につけさせる必要があります。

学習内容の増加

新学習指導要領では、中学校で扱う指導語彙の数が1,600～1,800語と示されました。現行の学習指導要領の1,200語から、大幅な増加です。ここに小学校の語数である600～700語を合わせると、中学校卒業までに計2,200～2,500語を扱うことになります。

また、これまで高校で学習していた現在完了進行形・仮定法などの文法事項も、中学校で学習することになります。

中学校でも授業は英語で

新学習指導要領では、「授業は英語で行うことを基本とする」と示されています。これは「生徒が英語に触れる機会を充実」させ、「授業を実際のコミュニケーションの場面とする」ことをねらいとしたものです。つまり、先生と生徒が英語でやり取りすることで、授業を生きたコミュニケーションの場面とすることが大切です。

5領域を統合的に学習

新学習指導要領では、言語活動を通して「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」の5領域を統合的に育成することが求められています。複数の技能を統合して行う活動を設定することで、言語の自然な使用場面に近づけ、実生活や社会で活用できる力を養うことが求められます。

